



かごしま

2013年(平成25年)

第556号

市民のひろば

9月号

市役所への問い合わせは
鹿児島市総合案内コールセンター
サンサンコールかごしま

はれはさんさんサンサンコール
TEL 099-808-3333
FAX 099-808-2525 年中無休 8時～21時
info@33call.jp

編集と発行 鹿児島市広報課 ☎099-216-1133 FAX099-216-1134 ✉kouhou@city.kagoshima.lg.jp
◇点字版・音声(テープ・CD)版を希望する人は広報課へ ◇配布の問い合わせは南日本リビング新聞社239-8124へ

【主な内容】

- 特集** 農産物直売所でかごしまの恵みを体感!!⑧・⑨
- 市政総合②～④
 - イベント・講座⑤～⑦
 - 暮らしのガイド⑩・⑪
 - 健康・福祉⑫・⑬
 - すこやか鹿児島っ子⑭・⑮

人口(平成25年8月1日現在・推計)
※()は前月比
人口総数 607,562人 (+75)
世帯数 270,986世帯 (+77)

市ホームページ
鹿児島市 検索
http://www.city.kagoshima.lg.jp/

広報紙「かごしま市民のひろば」
グラフ誌「市民フォト鹿児島」を読む
※上記のページからは電子ブックでも広報紙をご覧いただけます

携帯サイト「鹿児島シティガイド」
右の二次元コードからアクセスできます




特別養護老人ホーム高喜苑で、利用者とホットケーキ作りを楽しむ高齢者いきいきポイント推進事業のボランティア(青ベスト着用)

(大切なものは保存しておきましょう)

いつまでもいきいきと暮らせましょう...

人・まち・みどり

みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま



■秋の夜空に想いを馳せて
今月19日は十五夜です。十五夜は、満月の夜空に月見をしながら、ススキや団子、里芋などを供え、秋の収穫への感謝も表す伝統行事です。今から230年余り前、私たちのまちにも、星空にロマンを感じ、夜空を見上げていた人たちがいました。

島津氏第25代当主重豪(今年、没後180年)は、現在の天文館の一面に、ドーム状の「明時館(天文館)」という天体観測所を設置し、その観測をもとに、当時の高い技術を用いて、独自の曆を作成させるなど、薩摩藩は当時の宇宙観測の最先端を走っていたのです。

現在、鹿児島は、ロケット発射場を有する、地球から宇宙への最前線の地です。今も昔も時を超えて、星空への憧れは、果てしないものがあります。皆さんは、秋の夜空にどのような想いを馳せられますか。



天文館にある島津重豪(後ろ)とその家臣の観光オブジェ

■通学路を守る!
長かった夏休みも終わり、2学期がスタートし、日焼けした子どもたちが元気に通学する姿が見られます。毎日元気で登校し、元気で帰ってくるという日常慣れた光景が、いかに幸せであるかということを感じさせられる事件・事故が最近起こっています。

昨年4月には、京都府亀岡市で集団登校中の児童と保護者計10人が無免許運転の自動車にはねられるという痛ましい事故があり、私たちは大きな衝撃を受けました。

これを機に、本市では通学路の緊急点検を行い、対応の必要な箇所について、市道の改良を行っています。また、これまでも保護者とボランティアによる見守り活動や、横断歩道で児童通学保護員が誘導を行うなど、地域の皆様のご協力をいただきながら、通学路の安全を確保する取り組みを積極的に進めているところです。

次の世代を切り拓いていく子どもたちを守るのには大人の責任です。これからも安全に通学できるような市民みんなで安心・安全なまちづくりを目指してまいります。

市民とともに



鹿児島市長
森 博 幸